

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究-粘膜下層浸潤臨床病期I(T1N0M0)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第II相試験:JCOG0508	武藤 学	消化器内科	29,100,000	補 委	がん臨床研究事業新規
医薬品や医療機器のうち、諸外国では標準的な治療法として用いられていながら我が国では実用化されていない治療法等のエビデンスの確立に係る臨床研究の計画に関する研究-食道がん化学放射線療法後局所遺残再発例に対するタラポルフィリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学療法の実施第II相試験	武藤 学	消化器内科	7,997,000	補 委	医療技術実用化総合研究事業新規
新規ケモカインCXCL16制御を目的とした炎症性腸疾患に対する治療開発	仲瀬 裕志	消化器内科	1,430,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
ヒト樹状細胞活性化因子TSLPを用いた新規腫瘍特異的免疫療法の開発	渡部 則彦	消化器内科	5,400,000	補 委	文部科学省特定領域研究継続
術後十二指腸乳頭機能不全が生体肝移植後胆道合併症に及ぼす影響の検討	八隅 秀二郎	消化器内科	1,950,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)継続
肝移植後C型肝炎重症化機構に関与する宿主側要因とウイルス側要因の検討	上田 佳秀	消化器内科	1,700,000	補 委	文部科学省若手研究(B)新規
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	三森 経世	免疫膠原病内科	24,000,000	補 委	難治性疾患克服研究事業新規
関節炎抑制蛋白によるリウマチ性疾患の病態解析と新規治療法開発に関する研究	三森 経世	免疫膠原病内科	5,850,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
7SK-RNAを沈降する新たな自己抗体に関する研究	三森 経世	免疫膠原病内科	1,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究継続
ヒト破骨細胞における関節リウマチ特異自己抗原の解析	野島 崇樹	免疫膠原病内科	1,300,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
多発性筋炎・皮膚筋炎モデルを用いた筋炎病態解析とプロテアーゼ制御による治療法開発	吉藤 元	免疫膠原病内科	1,800,000	補 委	文部科学省若手研究(B)継続
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	三森経世	免疫膠原病内科	7,200,000	補 委	厚生労働省特定疾患調査研究費
関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究	三森経世	免疫膠原病内科	2,500,000	補 委	厚生労働省特定疾患調査研究費
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	三森経世	免疫膠原病内科	2,500,000	補 委	厚生労働省特定疾患調査研究費
抗U0 RNP抗体の病原性に関する研究	藤井隆夫	免疫膠原病内科	1,699,999	補 委	厚生労働省特定疾患調査研究費

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
てんかんの新たな治療法開発と標準化に関する基礎的・臨床的研究	池田 昭夫	神経内科	700,000	補 委 国立・神経センター運営局長
タウオパチー型認知症の治療とモニタリング技術の開発	井上 治久	神経内科	25,000,000	補 委 文部科学省
パーキンソン病遺伝子ネットワーク解明と新規治療戦略	高橋 良輔	神経内科	26,000,000	補 委 (独)科学技術振興機構
ヒトES細胞を用いた <i>in vitro</i> 血管神経細胞分化システムによる「虚血脳再生ホルモン」の探索とホルモン補償による新規認知症治療法の開発	高橋 良輔	神経内科	2,500,000	補 委 長寿科学総合研究事業継続
パーキン蛋白の機能解析と治療法の開発	高橋 良輔	神経内科	4,000,000	補 委 こころの健康科学研究事業継続
神経変性疾患に関する調査研究	高橋 良輔	神経内科	1,000,000	補 委 難治性疾患克服研究事業新規
筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発	高橋 良輔	神経内科	1,500,000	補 委 難治性疾患克服研究事業新規
パーキンソン病におけるパエル受容体の病態生理的役割の解明	高橋 良輔	神経内科	4,300,000	補 委 文部科学省特定領域研究継続
家族性パーキンソン病の病因遺伝子ネットワークの解明	高橋 良輔	神経内科	9,750,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
新規小胞体誘導蛋白質の脳変性疾患抑制機構と薬物作用機構	高橋 良輔	神経内科	500,000	補 委 文部科学省本学分担者用新規
アルツハイマー病原因遺伝子プレセニリン機能障害によるシナプス変性機構の解明	植村 健吾	神経内科	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
ラマン分光分析による乳癌の高精度診断・治療技術に関する調査	戸井 雅和	乳腺外科	945,000	補 委 (株)町田製作所
バイオマーカーを導入した原発性乳癌の集学的治療アルゴリズムの構築と意思決定過程の定式化に関する研究	戸井 雅和	乳腺外科	38,280,000	補 委 第3次対がん総合戦略研究事業継続
バイオマーカーを導入した原発性乳癌の集学的治療アルゴリズムの構築と意思決定過程の定式化に関する研究	戸井雅和	乳腺外科	38,280,000	補 委 第3次対がん総合戦略研究事業
骨髄・末梢血幹細胞の賦活化による網膜神経変性疾患の予防・治療法の開発	吉村 長久	眼科	4,000,000	補 委 千寿製薬(株)

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元	
高速高分解能眼底イメージング装置による生態情報取得と解析技術に対する高解像度化手段の臨床的評価方法の検討	吉村 長久	眼科	2,252,250	補 委	株式会社ニデック
E r - Y A G レーザの眼科応用についての研究	板谷 正紀	眼科	420,000	補 委	HOYA(株) ディカル事業部
ゲノム解析、幹細胞生物学を利用した日本人加齢黄斑変性の発症と進行機序の解明	吉村 長久	眼科	11,700,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
骨髄血管前駆細胞を使った網膜血管再生治療及び網膜神経保護療法の開発	大谷 篤史	眼科	8,190,000	補 委	文部科学省若手研究(A)継続
抗悪性腫瘍剤による卵巣障害とその分子生物学的解析	樋口 壽宏	産科婦人科	110,000	補 委	森永乳業(株)
胎生期低栄養による成長後の代謝異常発生機序の解明とその予防戦略の開発	由良 茂夫	産科婦人科	8,268,000	補 委	(独)科学技術振興機構
卵巣癌播種性転移のシグナル経路解析とその抑制物質の探索	小西 郁生	産科婦人科	1,300,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)新規
自己免疫の活性化を利用した新しい婦人科癌免疫療法の確立と臨床応用	高倉 賢二	産科婦人科	8,190,000	補 委	文部科学省基盤研究(A)継続
内分泌・免疫系ネットワークを介した母体と胚の相互応答による胚着床誘導機構の解明	藤原 浩	産科婦人科	8,450,000	補 委	文部科学省基盤研究(B)継続
免疫賦活遺伝子を導入した血管内皮前駆細胞を用いた婦人科腫瘍の新生血管標的治療	万代 昌紀	産科婦人科	2,860,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
婦人科悪性腫瘍に特異的な抗腫瘍免疫をつかさどる2次リンパ装置	福原 健	産科婦人科	3,300,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規
末梢血免疫細胞の胚着床促進機構の分子生物学的解析とそれを応用した不妊治療法	吉岡 信也	産科婦人科	2,470,000	補 委	文部科学省基盤研究(C)新規
マイクロアレイによる、卵巣明細胞腺癌に有効な薬剤の探索	松村 謙臣	産科婦人科	1,330,000	補 委	文部科学省若手研究(スタートアップ)新規
難治性皮膚角化症・ダリエー病に対する治療薬の開発	高橋 健造	皮膚科	2,000,000	補 委	(独法)科学技術振興機構
制御性T細胞局所投与による円形脱毛症治療法の開発	宮地 良樹	皮膚科	1,700,000	補 委	文部科学省萌芽研究新規

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15